

m a e n o h a

maekawa living magazine まえのは

2026

—
早春
号

ふわりと、心がほどける瞬間。





「ここに巨大水車を作りたいんです」と、新たな構想を前川(右)に話す前田さん。

前田 大介

富山市向新庄町 / 株式会社 MAE

訪ねた人：前川 守

木の香株式会社前川建築 代表取締役

あのひと
の暮らし

ハーブと香りに包まれ、
ここから心も体も生き返る場所。

富山では、この土地ならではの歴史や風土を受け継ぎながら、日々、新しいまちの魅力が創り出されています。前川建築のスタッフが、仕事や暮らしの中で出会った魅力的な方たちをご紹介しますこのコーナー。

第11回は、立山町でハーブとアロマをテーマにした複合施設「Heathian-wood」(以下、ヘルジアンウッド)を展開しているMAEの代表取締役・前田大介さんを、前川建築の代表取締役社長・前川守が訪ねました。



田園に囲まれ、立山連峰と海岸線を望むこの場所。2020年3月、前田さんは、「譲れない条件」を満す日中上野に、新たな施設をオープンした。豊かな自然に包まれた広大な敷地には、和ハーブを育てる「The Garden」をはじめ、そのハーブから精油と芳香蒸留水を抽出する工房がある。さらに、ハーブとアロマのトリートメントを受けられるスパ、拳式やマルシェなどに利用できる全天候型イベントスペース、ハーブ・スパイス・薬膳を生かしたフレンチ薬膳を楽しむレストラン、そして一棟貸し切り型のサウナホテル「The Live」など、多彩な施設が点在している。

すべての根底に流れてるのは、「ハーブと香りを軸に、人々が生き返る場所にしたい」という思い。その発想は、前田さんの実体験に根ざしている。約10年前、前田薬品工業(現在はMAE)が、医薬品事業のデータ

改ざん事件によって経営の危機に直面している時に、同社の3代目社長に就任した。困難な日々が続く中、心身に不調をきたし、しばし寝たきり状態に。病院で診察を受け、薬を処方されたが、効果が表れない。ところが、知人から勧められた香りの療法とハーブを試したところ、心身が復調。それを機に「The Garden」を作ったのが、ヘルジアンウッドの始まりだ。以降、この土地で育ったハーブをアロマオイルやハーブティー、ジン、サウナのロウリュなど、さまざまな形で心身に吸収できるように。ここを訪れたら、まずはサウナで血行を促し、次にトリートメントで老廃物を排出して、さらに健康的な食事で栄養を蓄えるとい

上／精油と芳香蒸留水の抽出工房「The Workshop」では、多様なセミナーやワークショップも開催。下／ハーブの香りに包まれながら、ウッドデッキでの散策を楽しめる「The Garden」。





前田 大介
Maeda Daisuke

株式会社MAE／株式会社GEN風景代表取締役。1979年富山県生まれ。製業会社の三代目として事業を多角化し、医薬・化粧品・アロマ・観光を融合。立山町に「Healthian-wood」を開設し、世界一美しい村づくりを目指す。

00世帯1000人の村にする」というビジョンの実現に不可欠だからである。ヘルジアンウッドで働く全社員の約3割がこの地に惚れ込んで移住した移住者であることが物語るように、これからも旅をきっかけに移住者を増やしていく考えだ。2040年までに年間10万人の来訪を目指す構想の一翼を担う宿泊施設「土肥邸Naya」を12月にオープンする。来年には一棟貸し

右ノサウナホテル「The Hive」は、茨城県行方市や、瀬戸内海の伯方島に来年着工予定。左ノハーブ、スパイス、薬膳を駆使したフレンチ薬膳を味わえる「The Kitchen」の「TOYAMA Wellness Cuisine」



う順序で楽しむのがおすすめです。心身が生き返っていくのを実感できるだろう。

生まれは隣の上市町だが、両親は富山にルーツがない。ヘルジアンウッドをオープンする前、約2年間かけて富山県内約200箇所の土地を見てまわり、今の土地に出会ったのが、立山町との縁が生まれた瞬間だった。「これまでに世界40カ国を見てきたが、立山町は世界に誇れるヒトやモノやコトが凝縮された町だと認識しています」と話す前田さん。さまざまな人たちとの出会いも、町への可能性を感じた理由だ。前川との初めての出会い、2019年に「埜の家」で開催されたイベント。以来、「The Hive」が誕生するまで、自身が住みたいと思った「埜の家」を県外客に宿泊先として案内し続けた。「富山の散居村を踏襲してヘルジアンウッドを拡張しているので、ゆくゆくはこの地に馴染んだ住宅を展開していきたいと考えています。その時に、前川さんと一緒に



「1000人のうち、300人が外国人なら、日常的に英語が飛び交う街になります。英語が話せるようになる状況を作ることも、ひとつのミッション」と前田さん。



Healthian-wood（ヘルジアンウッド）
〒930-3213 富山県中新川郡立山町日中上野57-1
<https://healthian-wood.jp/>
※施設ごとに営業日・定休日が異なります。
WEBサイトよりご確認ください。



WEBサイト



MAP

の宿や、ドッグランを備えたホテル、数年後には泊まれるワイナリーを建設する構想がある。また、コクヨと業務提携して、廃校を新しい複合施設として復活させ、将来的にはオルタナティブスクールにするという計画も進んでいる。2040年が、今から待ち遠しい。



全天候型のイベントスペース「The Field」では、2020年に1回目のウェディングが開かれ、今年で100組が誕生した。また、今年の婚活パーティーでは、10組が成立し、そのうち2組が結婚。ここで式を挙げる予定だ。そのほか、アートフェスや音楽イベントなどを開催することもできる。

できたらいっすね。「sun-kyo」のように、広い敷地内に程よい距離感で、さまざまなものをシェアしながら生活するスタイルを好んでいまして」と前田さん。前川も「ヘルジアンウッドが生まれてから、この地域の魅力がすごく増えています。自分も前田さんのプロジェクトに携わられたら嬉しいですね」と微笑む。

住宅の建築を視野に入れているのは、「9世帯20人の日中上野を、2040年までに3



1 January

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1 元日	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 成人の日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2 February

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 建国記念の日	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23 天皇誕生日	24	25	26	27	28

3 March

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20 春分の日	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4 April

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29 昭和の日	30		



1. 玄関ホールに立った時の光景。窓越しに見える田園風景や夕焼けに、心が和む。2. 「キッチン、レイアウトも製品そのものもHAIKEIの展示場と同じものを取り入れました。壁付けなので、空間に広がりをもたらす、料理の配膳や片付けもスムーズに行えます」と微笑む奥様。キッチンの色は、赤みをプラスした造作棚に近いものをセレクトしたという。3. LDKの一角にあるスタディスペースは、将来を見据えて設置。今は、奥様のメイクコーナーとして大活躍している。4. 四季を通して快適な室内環境は、チャイちゃんにも優しい。



tips:4

窓からの眺め。この景色を楽しむために、既製品の中で最も大きい窓を採用。



tips:3

LDKに温かい光をもたらす、コットン生地ランプシェード。木材や障子などともよく合う。



tips:2

「なるべく富山で作られているものを使いたくて」と、FUTAGAMIのスイッチプレートを採用。



tips:1

備え付けのアイアンバーにフックをひっかけて、キッチンツールをすぐ使える状態に。



豊かな自然や木の温もり、そしてご夫婦の愛情に包まれて、心地よく暮らすチャイちゃん。

あの家の 住まい方

立山町・O様邸

2024年新築

Housing
Tips

マイホームで寛ぐ犬のチャイちゃん。ご夫婦が一緒に暮らし始めたのは、O様邸が誕生してからである。「毎朝、早起きして20分ほど散歩に行くようになり、チャイちゃんのおかげで、生活リズムがかなり良くなりましたね」と笑みを浮かべるご主人。その間、奥様はキッチンで料理を作る。健やかな1日の始まりだ。

O様邸のリビングは、2階にある。玄関ホールから階段を上ると、ダイニングや壁付けキッチンとひとつになった開放的な空間が広がる。休日の日中には、テレビを見たり、会話をしたり、うたた寝をしたりと、家族みんなが心身ともにゆったり寛げる場となっているそうだ。

そして大きな窓からは、のどかな田園から立山連峰まで豊かな自然が目に入る。「雄大な山々が近くに感じられて、すごくいいですよ。特に朝焼けが好きですね」と微笑むご夫婦。外部からの視線が気にならないため、常に障子やシェードを開け放したま

ま、季節の移り変わりを知れる。

窓の外の景色だけでなく、LDK全体のデザインもご夫婦のお気に入り。あえて塗料を施して赤みをプラスした天井や造作棚、建具などの木材や、優しい風合いを持つ障子が空間に温もりと美しさをもたらしている。

「夜にランプシェードをつけると、空間全体がほんわかした雰囲気になって、とても癒される家です」とこやかに話す奥様。家族団らんのひとときを満喫した後、浴室と寝室のある1階へ。階段を降りることで心身がオフに切り替わり、暮らしにメリハリも生まれたという。

「これからやりたいことは、庭いじり。植物を植えたり、花壇を作ったりと、手をかけていきたいです」と、新たにチャレンジしたいことも芽生え始めたご夫婦。これからもチャイちゃんとともに、健やかな日々が続いていく。



スタッフ紹介

MAKEAWAグループのスタッフに、休日の過ごし方や、お気に入りのモノ・コトを聞きました。

Takahiro Kumamoto

熊本 考宏

● 前川建築 営業アドバイザー

2年ほど前にMacBook Airを購入したのを機に、Macの美しさと性能にすっかりハマってしまいました。休日にはYouTubeを見たり、ChatGPTと会話をして仕事のしやすい環境づくりに勤しんだりしています。一人の時間も好きですが、会話や食事、息子とのお風呂など、家族との時間が本当に大切。そのためにも、丁寧に掃除をして心地よい環境づくりを行っています。家は、家族に大きな影響を与える器。これからも自分の発言に責任を持ち、地域の景観に調和した家の外観やお庭などのご提案もしていきたいです。



お気に入り

MacBook Air。仕事道具、勉強道具、娯楽と幅広く使っています。デスクに置くとオブジェにもなる見た目や、触り心地、タイピングの打ち心地と、すべてが最高です。

仕事も家庭も「環境づくり」を日々大切に。



Riho Miyake

三宅 りほ

● 前川建築 広報

早朝や夕方に、常願寺川の土手を歩くのが好きです。立山連峰から昇る朝日や、富山湾から能登半島まで見える景色は見飽きることがありません。休日には自然の豊かな場所に出かけることが多いですが、コロナ禍を機に家のそばで畑仕事や木彫りを楽しむようになったのもありました。出来上がったものを人に手渡した時の笑顔を見るのが、何よりの喜びです。この気持ちは、仕事でも同じ。前川建築の家で暮らす幸せを一人でも多くの人に知ってもらえるように、最初の窓口として、日々試行錯誤を繰り返しています。



お気に入り

木彫りのクマ。新婚旅行で、カリフォルニアのレッドウッドを見に行った時、チェーンソーで木彫りをしている方から購入しました。何とも言えない表情に癒されています。

オンもオフも人の喜ぶ顔が原動力。



おうちの
お手入れ

観葉植物の冬の管理

観葉植物は寒さが苦手な種類が多く、気温が下がる冬は休眠状態に入るものがほとんどです。屋外で育てていた場合は、早めに室内へ取り込み、暖かい場所で管理してあげましょう。

室内栽培を たのしむ ポイント

エアコンで室内が乾燥すると葉が傷みやすくなるため、霧吹きで葉に軽く水分を与える“葉水”をしてあげると、植物もいきいきしてくれます。(多肉植物など葉水が不要なものもあります)そして冬は、生花をお家で楽しむのにもぴったりの季節です。気温が低いので花もちが良く、いつもより長く楽しめます。外に花が少ない冬だからこそ、お部屋に季節の彩りを取り入れてみませんか？



葉水♪

注意ポイント！

窓際は放射冷却で思いのほか冷えることがあります。カーテンを引いたり、少し離れた場所に置くなど、冷氣対策をしてあげると安心です。また、冬は根が水を吸う力も弱くなります。水をあげすぎると根腐れの原因になるため、やや乾燥気味の水やりで大丈夫です。

i n f o r m a t i o n

お知らせ

住まい手募集モデル住宅

HAIKEI

「HAIKEI2」 展示期間を終了しました



舟橋村にある前川建築のモデルハウス「HAIKEI2」は、11月末をもって展示を終了いたしました。期間中は本当にたくさんのお客さまに足をお運びいただき、心よりお礼申し上げます。並んで建っている「HAIKEI1」との小さな街並みのような雰囲気や、玄関からお庭へとつながる通り土間、やわらかな光が入るレース障子の大きな窓、眺めの良い2階の床座スタイルのスタディコーナーなど、住まいづくりの参考にしてくださった方も多く、スタッフ一同とても嬉しく感じております。

そして来春には、婦中町に小さな街並みとなる2棟の新しいモデルハウスがオープン予定です。完成しましたら、また皆さまにゆっくりご覧いただけるよう、ご案内させていただきます。



2026年春
オープン予定

編集後記

新春の候、皆さまいかがお過ごしでしょうか。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。昨年11月3日に感謝祭を開催いたしました。あいにくの空模様で肌寒い一日となりましたが、多くのオーナーさまにご参加いただき、皆さまの元気な笑顔にお会いできてとても嬉しく思いました。MAEKAWA感謝祭は、毎年11月3日開催です。今年もたくさんのオーナーさまにお会いできるのを、スタッフ一同楽しみにしております。



m a e n o h a 2026 早春号

2026年1月1日発行

企画・取材・文／まえのは編集部

編集／広報部

写真／松井 洋貴

イラストレーション／おざわ さよこ

エディトリアルデザイン／ワークス

発行／MAEKAWAグループ

〒930-3221 富山県中新川郡立山町四谷尾691-4

Tel : 076-462-0611

<https://maekawa-kenchiku.com/>



表紙写真：光と風を受ける、繊細で力強いThe Filedの屋根